

## 平成 30 年度 第 5 回三和区地域協議会次第

日時:平成30年10月23日(火)  
午後6時30分から  
場所:三和コミュニティプラザ  
2階 会議室1

### 1 開 会

### 2 会長挨拶

### 3 報告事項

- (1) 宮崎新田市有地内残置産業廃棄物撤去に伴う現場作業の完了について

### 4 議 題

- (1) 自主的審議事項について

- (2) 三和中学校との意見交換会について

- (3) その他

### 5 その他

### 6 閉 会

## 三和区地域協議会における「三和区小学校のあるべき姿について」 の協議結果について

### (1) 小学校のあるべき姿についての協議状況

三和区に配置されている、里公小学校、上杉小学校、美守小学校の3校全てにおいて、今後も少子化による児童数減少が続くと見込まれ、すでに美守小学校については複式学級となっているのが現状です。

こうした現状を踏まえ、少子化に伴う小学校の問題は将来の三和区の重要な課題になると考え、平成28年度から「三和区小学校のあるべき姿」を自主的審議事項として協議してきました。・・・**別紙1**

協議にあたっては3小学校の統合ありきではなく、まずは、地域の皆さんに小学校の現状を示し、将来の小学校についての考えを地区別、各組織、保護者の皆さんなどと意見交換をしました。その後、その際の意見を基に、主に保護者の皆さんとの意見交換やアンケート調査等を実施しました。・・・**別紙2**

これらの経緯も踏まえ検討を重ねた結果、三和区地域協議会では、三和区小学校のあるべき姿について次のとおりまとめました。

#### ○ 地域協議会委員の共通認識

- ・児童数減少の現状を踏まえ、区内小学校は今後どうあるべきかの検討を行い、市（教育委員会）へ意見書を提出する。
- ・意見書については、地域の意見を反映させ、地域の理解を得た内容とする。

#### ○ 意見の骨子（案）

三和区内の子ども達がより良い教育環境で学べるよう、三和区内の里公小学校、上杉小学校、美守小学校の3校を早期に統合し、区内は1小学校とする。

### (2) 小学校のあるべき姿についての今後の進め方・・・**別紙3**

- ①地域協議会主催による町内会長協議会説明会及び地域説明会を開催する。
- ②意見を集約し、地域協議会で意見書を作成する。
- ③上越市（教育委員会）に対し、小学校のあるべき姿について意見書を提出する。

### (3) 三和区の小学校の児童数の現状と推移・・・**別紙4**

## 「三和区小学校のあるべき姿」についての検討経過

## 三和区地域協議会

時 期	会議名	概 要
平成 26 年 2 月 5 日 2 月 17 日 2 月 19 日	美守小学校視察研修 里公小学校視察研修 上杉小学校視察研修	・各学校へ出向いて授業参観 ・校長、教頭等との意見交換（学校の規模・複式学級などについて）
平成 27 年 11 月 26 日	地域協議会勉強会	・「将来に向けた小学校の統廃合について」教育委員会から説明を受け、その後意見交換
平成 28 年 3 月 24 日	第 11 回地域協議会	・「三和区小学校のあるべき姿」を自主審議事項として取り組むことを決定
平成 28 年 7 月 21 日	三和区町内会長協議会	・今後の意見交換会等の開催にあたり、町内会長に今後の進め方について概要を説明するとともに協力を依頼
平成 28 年 8 月～ 平成 29 年 2 月	8/30 美守地区町内会長（12 人） 8/31 上杉地区町内会長（12 人） 9/1 里公地区町内会長（10 人） 9/8 保育園保護者（16 人） 9/12 美守小学校保護者（7 人） 9/13 上杉小学校保護者（4 人） 9/14 里公小学校保護者（3 人） 10/31 学校運営協議会（22 人） 11/2 青少年育成会議（10 人） 11/8 美守地区（10 人） 11/9 上杉地区（13 人） 11/10 里公地区（15 人） 2/22 P T A 役員等（13 人）	・区内 3 小学校の「統合」ありきではなく、地域の皆さんに小学校の現状をお示しし、今、将来の小学校についてどのようにお考えか意見をお聞きすることに主眼をおき、地区別、各組織、保護者の皆さんなどと意見交換会を実施延べ 13 回 147 人出席
平成 29 年 1 月 15 日	「三和区地域協議会だより」発行	・自主的審議事項としての取組を周知
平成 29 年 4 月 18 日	教育委員会へ活動の中間報告	・意見交換会の概要を教育委員会へ報告意見交換する中で、教育委員会から「市の小学校の適正配置に関する基本的な考え方について」説明に来てもらうこととする
平成 29 年 8 月 7 日	委員研修会	・教育委員会から説明を受け、その後意見交換
平成 29 年 10 月 5 日	地域協議会第 1 回勉強会	・保育園保護者役員及び小学校 PTA 役員と意見交換し、今後の進め方を協議することとする
平成 29 年 11 月 28 日	保育園保護者会役員、小学校 PTA 役員との意見交換会	・保育園、学校ごとに多くの保護者を集め意見交換できる場の設定を依頼する予定だったが、美守小 PTA 役員から、「小規模の美守小で保護者の意見をアンケート方式で取りまとめ、結果を協議会に提出する」との発言があり、その結果を見て今後の進め方を考えることとする

平成 29 年 12 月 21 日		<ul style="list-style-type: none"> <li>美守小学校保護者アンケート結果受領 「小学校の統合は必要か」を 41 名に問 いかけ、必要である 15 名、必要ではな い 3 名、どちらともいえない 21 名（無 回答 2）という結果であった</li> </ul>
平成 30 年 1 月 16 日	地域協議会第 2 回勉強会	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の進め方を検討。他の 2 小学校及 び保育園で同様のアンケートを依頼す ることとした</li> </ul>
平成 30 年 1 月 30 日	保育園保護者会役員、小学校 PTA 役員との打合せ会	<ul style="list-style-type: none"> <li>美守小学校のアンケート結果を説明。</li> <li>他校及び保育園でのアンケート実施に ついて了承され、PTA 会長・地域協議 会長の連名で学校・保育園を通じ保護 者に依頼することとした</li> </ul>
平成 30 年 2 月 27 日	地域協議会第 3 回勉強会	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 校及び保育園保護者のアンケート結 果（速報版）を提示し今後の進め方等 を協議。 「必要ではない」の人数が少ないこと から、話を進めていくべきとの意見 多。必要否かだけでなく、筆記の意見 も多々あったので、それらを整理し、 次回検討することとした</li> </ul>
平成 30 年 5 月 11 日	第 2 回地域協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>協力いただいた各団体にアンケート結 果をお知らせし意見交換を行い、その 後、地域協議会として「三和区小学校 のあるべき姿」の方向を決定し町内会 長協議会を始め地域の皆さんに説明、 意見交換することとする</li> </ul>
平成 30 年 6 月 28 日	「三和区小学校のあるべき姿」に 関するアンケート結果説明会	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育園保護者会役員、小学校 PTA 役員 を対象にアンケートの結果を説明し、 意見交換を行う</li> </ul>
平成 30 年 7 月 12 日	地域協議会第 1 回勉強会	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会の「今後の方向性につい て」説明後、各委員の意見を聞き、結 果「地域協議会として 3 校統合を進め てほしい」旨の意見を市に対して行い たいと意思統一した</li> </ul>
平成 30 年 9 月 7 日	第 4 回地域協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会長協議会を始め地域への説明会 について協議</li> </ul>
平成 30 年 10 月 4 日	教育委員会との情報共有等	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会へ出向き、正副会長と事務 局からこれまでの取組や地域協議会の 考え方、今後の進め方などを報告し意 見交換を行い、情報を共有した。</li> </ul>

## 三和区小学校のあるべき姿に関するアンケート結果について

設問1 現在の小学校の状況や、お子さんの様子、別紙の資料をご覧になって、小学校の統合は必要であると感じますか？

区分	学年	保護者数	必要である		必要ではない		どちらともいえない		無回答		回答率
			回答数	割合%	回答数	割合%	回答数	割合%	無回答数	割合%	
里公小学校	1年	17	9	53	0	0	4	24	4	24	76
	2年	15	3	20	1	7	2	13	9	60	40
	3年	20	7	35	1	5	6	30	6	30	70
	4年	22	6	27	1	5	9	41	6	27	73
	5年	33	14	42	2	6	4	12	13	39	61
	6年	30	14	47	3	10	6	20	7	23	77
	計	137	53	39	8	6	31	23	45	33	67

区分	学年	保護者数	必要である		必要ではない		どちらともいえない		無回答		回答率
			回答数	割合%	回答数	割合%	回答数	割合%	無回答数	割合%	
上杉小学校	1年	8	2	25	1	13	1	13	4	50	50
	2年	5	1	20	0	0	4	80	0	0	100
	3年	6	6	100	0	0	0	0	0	0	100
	4年	9	3	33	0	0	4	44	2	22	78
	5年	12	5	42	2	17	5	42	0	0	100
	6年	12	8	67	0	0	0	0	4	33	67
	計	52	25	48	3	6	14	27	10	19	81

区分	学年	保護者数	必要である		必要ではない		どちらともいえない		無回答		回答率
			回答数	割合%	回答数	割合%	回答数	割合%	無回答数	割合%	
美守小学校	1年	6	3	50	0	0	2	33	1	17	83
	2年	6	3	50	0	0	3	50	0	0	100
	3年	6	0	0	1	17	5	83	0	0	100
	4年	6	2	33	1	17	2	33	1	17	83
	5年	8	2	25	0	0	6	75	0	0	100
	6年	9	5	56	1	11	3	33	0	0	100
	計	41	15	37	3	7	21	51	2	5	95

区分	学年	保護者数	必要である		必要ではない		どちらともいえない		無回答		回答率
			回答数	割合%	回答数	割合%	回答数	割合%	無回答数	割合%	
さんわ保育園	0歳児	14	11	79	0	0	3	21	0	0	100
	1歳児										
	2歳児	17	11	65	1	6	2	12	3	18	82
	3歳児										
	4歳児										
	5歳児	20	10	50	1	2	4	20	5	25	75
	計	19	8	42	1	2	9	47	1	5	95
計	70	40	57	3	5	18	26	9	13	87	

区分	保護者数	必要である		必要ではない		どちらともいえない		無回答		回答率
		回答数	割合%	回答数	割合%	回答数	割合%	無回答数	割合%	
総計	300	133	44	17	6	84	28	66	22	78

## アンケート結果

### 設問 1

現在の小学校の状況や、お子さんの様子、別紙の資料をご覧になって、小学校の統合は必要であると感じますか。

#### <必要である理由> 123名

- ・小学校児童数が減少しているので、統合は必要だ。
- ・この先、急激に子どもの数が増える見込みがあるとは思えないので、どんな形でも統廃合は避けられないと感じる。
- ・将来三和の子ども数が減少した時のことを考えると、早目に手を打つべきだ。
- ・これから子ども数が減っていくことはわかるので、子どものためにも統合し、適度な人数で学校生活を送ってほしい。
- ・保育園と中学校が統合されているのに、小学校だけ統合していないのは一貫していない。
- ・複式学級にデメリットを感じる。
- ・子どもは互いを認めたり、拒否したりの中で、心の成長があると思う。少人数ではコミュニティが限定されてしまう。
- ・小人数だと学校や保護者の負担が大きくなるため。
- ・子どもたちに集団（大人数）で行動するというのを学んでほしいため。

#### <必要ではない理由> 15名

- ・人数が少ない事で学年に関係がなく仲がよく、一緒に活動できるのは小学校ならではないか。
- ・問題を感じていないため。
- ・地域の特色などがあると思うので、子どもの生活面を変えない方がよい。
- ・児童数の推計をみる限り、すぐに統合をする必要はないと思う。
- ・現在の児童、地域、学校におけるコミュニティに一応に満足しているから。
- ・通学距離が遠くなる可能性があるため。

#### <どちらともいえない理由> 60名

- ・人数が増えると色々な問題が出てくるので不安はある。でも、大人数での生活も大事だと思うので、3校での交流を増やして中学へ行きやすくすればいいと思う。
- ・数年後はいずれ統合すると思うが、現在は必要ではない。
- ・少人数には少人数の良い所、大人数には大人数のよい所があると思うので、とてもむずかしい。
- ・3校それぞれの特色があり、統合による良い面・悪い面、子供達の為になるのはどちらなのか決めかねます。
- ・複式学級のメリットはかなり大きいものがあるし、遠方から通学するのは子どもへの負担が大きい。しかし、大勢の中でのコミュニケーションの取り方を知らないままになるから。
- ・子どものためにどちらがよいのかわからない。

## 設問2

現在の小学校の状況や、お子さんの様子、別紙の資料をご覧になって、小学校の統合についてどのようにおもわれていますか。

～自由なご意見をお書きください。

### <必要であるとした保護者の意見> 133名

- ・人数が減っていくため、いずれは小学校の統合は必要になると思う。
- ・児童数が多い方が学習や行事等に幅が広がり、楽しめると思う。
- ・学校と言うのは、学習面でも生活面でも「集団行動」を通していろいろなことを学ぶ場だと思う。そのためには統合は必要。
- ・地域から学校がなくなる、保護者が育った学校がなくなることへの心情、意義は理解する。しかし、子どもたちの将来や育むべき力を考えることを第一においた時、この先の現状が子どもたちにとってよいことなのか疑問である。
- ・小規模のデメリットを考えると、いつまでも統合を先延ばしにはできないと思う。
- ・地域と学校の関係は重要ではあるが、一番は子どもの成長という面で、子ども同士がどう関係を築き、過ごすかが重要です。
- ・歴史や地域の思いから統合について慎重の意見が多いかもしれないが、子ども達の将来の事を考えれば、少しでも多い人数の中で学び合う事が大切だと考えます。このままだと、もっと三和で子どもを育てようとする世帯が減ってしまうように感じます。
- ・人数が少ないことで、保護者の負担も増えます。正直、今でも学校や地域などの色々な役員をずっとやらなければならなかったので、これからは常に何かの役員をやっていかなければいけなくなるので、大変かと思います。
- ・人数が少ないことのメリットはあまり感じない。デメリットのほうが多い。コミュニケーション能力や集団行動、団体スポーツに影響がある。

### <必要ではないとした保護者の意見> 22名

- ・現在問題がないので、統合はしなくてもよいと思う。統合することの方が問題を感じる。
- ・3校の特色が、少なからずあってもよいのではないか。
- ・学校運営にかかる費用や労力を考えると、いずれ統合ということになるだろうが、行事への参加や登下校のあいさつ、パトロール活動のような見守りが減ることにより、地域のつながりがなくなってしまうのではないかと心配だ。
- ・中学生、高校生になれば人数が増え、確実に団体（大勢）の中で過ごさねばならないので、小学校のうちだけでも地域、学校で児童、先生方と密に接することが出来ることは大切だと思う。
- ・学校まで歩いていくことも子どもにとって大切なことであると思う。仮に統合するとバス通学になり、家の近隣について知ることがなくなる。

### <どちらともいえないとした保護者の意見> 106名

- ・統合について良い点、悪い点もあると思い、正直どちらが良いのか言えない。

- ・少人数だからこそその良さも本当にたくさんあるし、実感してきたが、学習面や運動面においては、少し課題も生まれてしまうのが現状だと思われる。今後また複式が必要な人数減少がおこるのであれば、統合の検討もあるのかなと思います。
- ・小規模な学級では、一人ひとりに行き届いた指導をしていただけます。複式学級も決して悪いとは思いません。(先生方が大変でなければですが) また、地域としては小学校は、やはりあった方が良くと思います。ただ、子供が少なくなるのと同時に、学年で同性が1～2人しかいない状況になってしまった場合、その子にとってどうなのか、中学校に行った時大丈夫なのか心配になります。子供の事を一番に考える必要があると思います。(地域が一番ではない。)
- ・少人数での教育のメリットもあるが、大人数による競争心やクラブ活動、学級活動の多面性を考えると統合も考えられる。  
自分は区内小学校卒業生、現母親として一番に考えるのは、子どもがのびのびと育つ環境であってほしいことである。伝統は二の次で、「今」の子どもたちにベストな選択をしてほしい。いずれは統合してほしいが今は必要ないと考える。人数が少なくても多くても、子どもにはその学校生活が宝になっていくのではないかと思う。
- ・現状では今のままでもそれほど悪くないと思うし、小さな学校でも良いところはたくさんある。しかし、ゆくゆく統合するなら早めに準備・決定すればみんなそれに合わせていくと思う。保育園から中学校までみんな一緒もいいかなと思いつけている。
- ・自分は大人数の小学校だったが、みんなが助け合い友達も多かったが、その反面いろいろなトラブルも経験してきた。どちらが良いとは言えないが、大人数だと行事は楽しかったし盛り上がることを考えると、統合かなとは思っている。社会にでるまでにいろいろな人と付き合うのも経験であり、自分で対応できるようにならないと子ども自身が困ってしまう。

三和区小学校のあるべき姿に関するアンケート

回答者： \_\_\_\_\_ 年保護者

※上のお子さんの学年記入

1、現在の小学校の状況や、お子さんの様子、別紙の資料をご覧になって、小学校の統合は必要であると感じますか？（○で囲ってください）

- ・必要である                      ・必要ではない                      ・どちらともいえない

理由

[ \_\_\_\_\_ ]

2、現在の小学校の状況や、お子さんの様子、別紙の資料をご覧になって、小学校の統合についてどのように思われていますか？

～自由なご意見をお書きください～

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

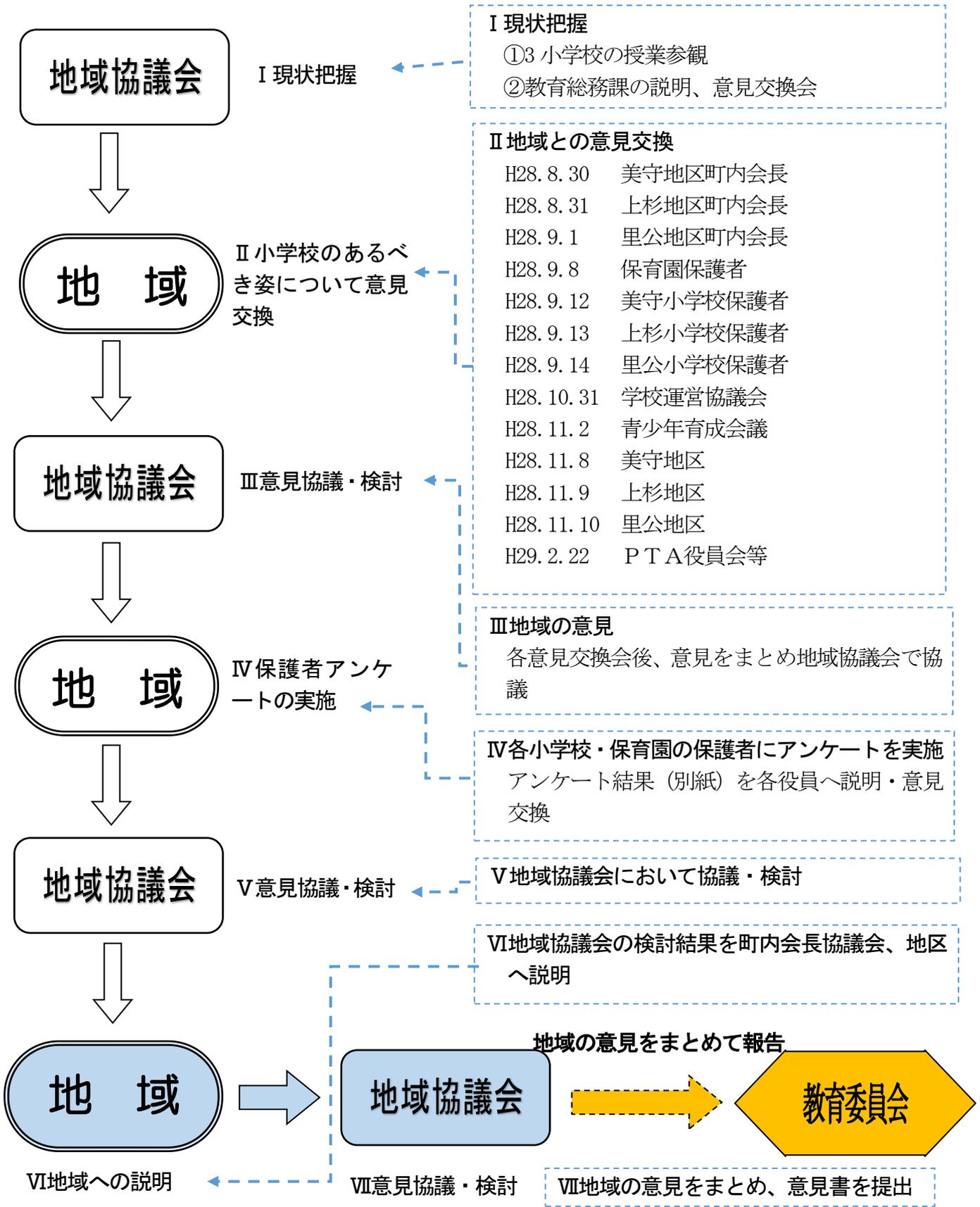
-----

-----

-----

お忙しい中、アンケートへご協力いただきありがとうございました。

地域協議会の協議状況及び今後の予定



**【地域協議会の検討結果】**  
 ・三和区内の3 小学校を早期に統合し、区内は1 校とする。

## 三和区の小学校の概要

### 【校舎の状況】

		里公小学校	上杉小学校	美守小学校
竣 工		昭和 53 年 8 月	昭和 55 年 3 月	昭和 57 年 7 月
構 造		鉄筋 3 階建	鉄筋 3 階建	鉄筋 3 階建
教室数	普通教室	10	7	5
	特別教室	6	10	10
	計	16	17	15
面 積	校舎棟	2,077 m <sup>2</sup>	2,153 m <sup>2</sup>	2,077 m <sup>2</sup>
	体育館	793 m <sup>2</sup>	620 m <sup>2</sup>	825 m <sup>2</sup>
	敷 地	14,559 m <sup>2</sup>	14,222 m <sup>2</sup>	17,431 m <sup>2</sup>

※ 耐震工事については、里公小学校、上杉小学校は完了。

(美守小学校は新耐震基準を満たしている)

### 【年度別児童数の推計】

【平成 30 年 5 月 1 日現在】

※網掛けは、複式学級

※平成 30 年度までの児童数は、各年 5 月 1 日現在の学校基本調査（普通学級）による人数

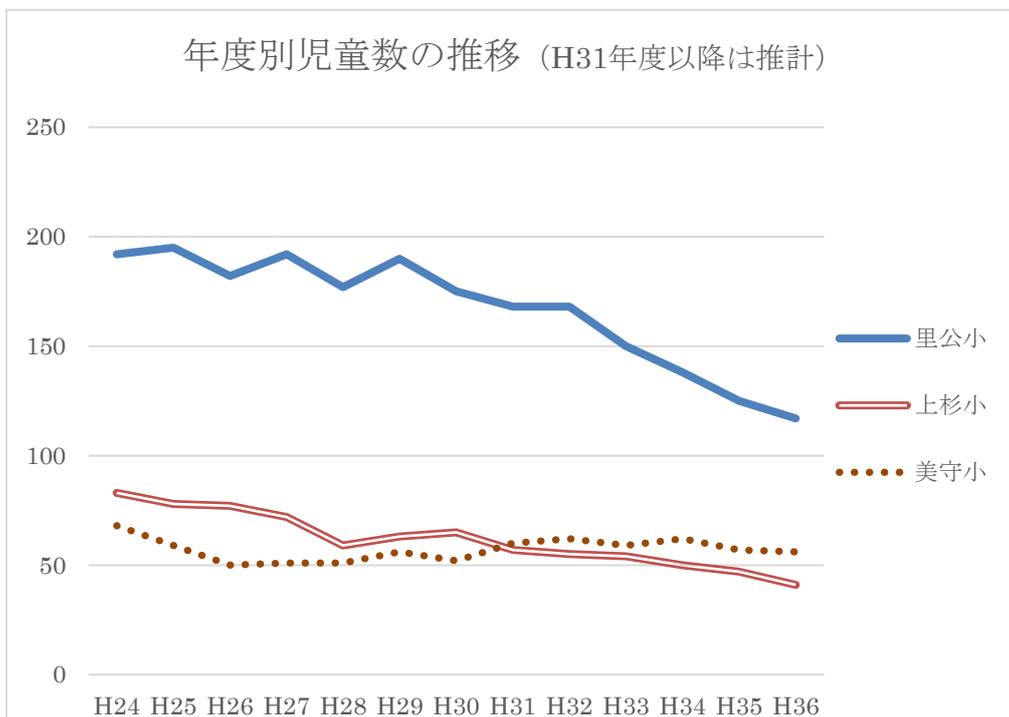
※平成 31 年度以降の入学者数は、平成 30 年 5 月 1 日現在の住民基本台帳上の人数

学校名	里公小学校						
	1	2	3	4	5	6	計
24 年度	35	26	38	25	38	30	192
25 年度	32	34	27	38	25	39	195
26 年度	27	32	34	26	38	25	182
27 年度	34	27	33	33	26	38	192
28 年度	27	33	27	33	32	25	177
29 年度	38	28	33	27	32	32	190
30 年度	20	36	26	34	27	32	175
31 年度	19	20	37	29	35	28	168
32 年度	28	19	20	37	29	35	168
33 年度	17	28	19	20	37	29	150
34 年度	17	17	28	19	20	37	138
35 年度	24	17	17	28	19	20	125
36 年度	12	24	17	17	28	19	117

学校名	上杉小学校						
	1	2	3	4	5	6	計
24 年度	13	6	23	12	14	15	83
25 年度	11	13	6	23	11	14	78
26 年度	11	12	13	6	23	12	77
27 年度	7	11	12	13	6	23	72
28 年度	10	7	11	12	13	6	59
29 年度	11	10	7	10	12	13	63
30 年度	12	12	12	7	10	12	65
31 年度	6	12	12	10	7	10	57
32 年度	8	6	12	12	10	7	55
33 年度	6	8	6	12	12	10	54
34 年度	6	6	8	6	12	12	50
35 年度	9	6	6	8	6	12	47
36 年度	6	9	6	6	8	6	41

学校名	美守小学校						
学年	1	2	3	4	5	6	計
24年度	9	7	10	9	17	16	68
25年度	7	9	7	10	9	17	59
26年度	7	7	9	7	10	10	50
27年度	11	7	7	9	7	10	51
28年度	10	11	7	7	9	7	51
29年度	11	10	11	7	8	9	56
30年度	7	11	9	10	7	8	52
31年度	14	8	11	9	11	7	60
32年度	9	14	8	11	9	11	62
33年度	8	9	14	8	11	9	59
34年度	12	8	9	14	8	11	62
35年度	6	12	8	9	14	8	57
36年度	7	6	12	8	9	14	56

三和区 計							
学年	1	2	3	4	5	6	計
24年度	57	39	71	46	69	61	343
25年度	50	56	40	71	45	70	332
26年度	45	51	56	39	71	47	309
27年度	52	45	52	55	39	71	314
28年度	47	51	45	52	54	38	287
29年度	60	48	51	44	52	54	309
30年度	39	59	47	51	44	52	292
31年度	39	40	60	48	53	45	285
32年度	45	39	40	60	48	53	285
33年度	31	45	39	40	60	48	263
34年度	35	31	45	39	40	60	250
35年度	39	35	31	45	39	40	229
36年度	25	39	35	31	45	39	214



## 三和中学校2年生との意見交換会計画書（案）

## (1) 目的

中学生が、自分の住む三和区についてどのように感じ、考えているのか意見交換し、今後の地域協議会活動の参考にする。

中学生に地域の一員であることを意識づけ、必要とされていることを感じてもらい、地域と関わりを持つことで、将来の三和区の活性化に繋げる。

## (2) 出席者

三和中2年生…18人、19人の2クラス 37人

地域協議会委員…14人全員

## (3) 内容

## ①事前学習

○ワークショップを行う前に事前学習を行う。

- ・地域協議会について
- ・現在取り組んでいる内容（地域活動支援事業、小学校のあるべき姿）

○実施時期

12月の冬休み前（詳細は、田口学年主任と調整する）

○実施方法

- ・地域協議会の役割や活動について資料を作成し、事前に配布する。（事務局）
- ・地域協議会会長、副会長より学校の授業内で説明

## ②ワークショップ

○実施時期

- ・1月中旬～下旬（詳細は、田口学年主任と調整する）

「火曜日午後 5・6時間目」（普通授業・総合学習）

5時間目 50分(10分休憩)6時間目 50分…合計 1時間40分

○実施方法

- ・班別のワークショップ（記録、発表は中学生にお願いしたい）
- ・中学生は1クラス3班の全部で6班、委員2名～3名程度が各班に参加する。
- ・テーマは同じにし、具体的にする。

「笑顔が輝くまち（さんわ）づくり」 ～三和をどう感じているか～

i 若者が住みたい、働きたいと思う三和への希望や要望は？

将来三和で暮らすとしたら何を望むか。暮らしたくないとしたら理由は何か。

ii 良いところ、少し残念と思うところは

観光・施設、交通網、農業、自然、商店等

iii 自然豊かな三和を生かす方法はなにか

### ③実施後

○出された意見をまとめ、地域協議会にて整理する。

- ・担当機関へ情報提供することで解決できる意見
- ・自主的審議事項として継続審議する意見
- ・対応できない意見

等々

○整理された意見は中学生に報告し、必要であれば再度意見交換を行い継続する。

### (4) スケジュール等

#### ■事前学習・ワークショップ

日 程	内 容
11月上旬	中学生へ資料配布 ↓ 事前学習期間
12月中旬～下旬	会長の講話 ↓ 事前学習期間
1月中旬～下旬	協議会委員との意見交換

#### ■ワークショップ当日の流れ

時間	内 容
13：40～13：50（10分）	会長挨拶
13：50～13：55（5分）	自己紹介
13：55～14：05（10分）	先生のお話
14：05～14：55（40分） 途中10分休憩	ワークショップ （まとめ含む）
14：55～14：25（30分）	発表（6班×5分）
14：25～14：30（5分）	閉会

### (5) その他

- ・地域協議会の知名度を上げるためにも、報道機関へ情報提供を行う。
- ・年度内に意見の整理までは終了し、翌年度も継続する。

## 三和区宮崎新田市有地内産業廃棄物撤去について（第9報・最終版）

三和区宮崎新田市有地内の産業廃棄物撤去につきましては、昨年8月28日に現場作業に着手し、2か年度にわたって廃棄物の掘削・選別・搬出、及び地山への盛土・成形などの各作業を進めてまいりましたが、今年5日、搬出道路として使用してきた市道宮崎新田線の原状復旧作業が終了したことをもって、現場における全ての作業が完了いたしました。

これまで、地元の皆様からご理解とご協力を賜ったことに、改めて深く感謝申し上げます。

前号第8報でお知らせいたしましたとおり、現場から搬出した廃棄物の総量は、推定処理量11,200tを約11%上回る12,446tとなりました。このうち、汚泥の一部や木くず、コンクリート殻などの資源化に努めるとともに、資源化に適さないものは県外にある民間の管理型最終処分場に埋め立て、適正に処理いたしました。

また、9月に行った直近の騒音測定と水質検査の結果につきましては、別紙のとおり異常はありませんでした。

今後も、水質検査とその結果の公表を定期的に行いながら、引き続き地元の皆様の日常生活の安全・安心の確保に努めてまいります。

## ◎ 今回は、改めて写真で撤去作業の様子を振り返ります。

1 現場の移り変わり > 大量に積み置かれた廃棄物が徐々に撤去され、現場は見違えるようになりました。



▲ 撤去前 (H29.7.29撮影)



▲ 撤去中 (H29.11.1撮影)



▲ 撤去中 (H30.5.31撮影)



▲ 撤去完了 (H30.8.18撮影)



▲ 盛土・成形作業完了 (H30.9.26撮影)

2 撤去作業の内容 > 掘削・選別・運搬などの各作業工程を迅速かつ丁寧に進め、廃棄物の適正処理を行いました。



▲ ①掘削…長年積み置かれた種類の異なる廃棄物を手際よく掘り起す。



▲ ②選別…回転式とグローブ型の重機の連携により作業効率を上げる。



▲ ⑤搬入…糸魚川市の工場へ1,008tを搬入し、セメントに再資源化。



▲ ③積み込み…資源化可能な廃棄物は、まとめて中間処理施設へ搬入。～



▲ ⑥埋立て…廃棄物の大半は、富山市の最終処分場に埋立て適正に処分。



▲ ④運搬…延べ1,349台の車両を使い、遠くは富山市へ廃棄物を運び出す。



▲ ⑦成形…谷側の斜面を削り、安定勾配を確保し、土砂の崩落を防ぐ。

3 現地視察会などを開催 > 作業内容を公開し、地元の皆様から作業の様子を確かめていただきながら進めました。

▲ 第1回現地視察会 (H29.11.18 18人参加)  
肌寒い天候の中、現場で行われている掘削・選別作業をご覧いただき、資源物として選別した木くずなどの状態をご確認いただきました。▲ 第2回現地視察会 (H30.7.14 16人参加)  
廃棄物撤去の現場の様子をご覧いただき、急峻な掘削跡の崩落の危険性がないかなど、現場の今後の保全について質問がありました。▲ 地元3町内会長による現地視察 (H30.8.18、9.21)  
廃棄物の全量撤去作業と盛土・成形作業の完了時点で、各作業の状態をご確認いただき、「見違えるようになった」などの声が寄せられました。

【問い合わせ先】 何かお気づきの点や不明な点等がありましたら、以下の部署へお問い合わせください。

① 三和区総合事務所 市民生活・福祉グループ 電話 025-532-2323

② 生活環境課 施設整備係 電話 025-520-2088